



施設全体のご案内

AL☆VE INFORMATION

# 全体計画概要

秋田の新しい未来を創る、秋田拠点センターアルヴェ。  
新しい交流がここから始まります。



## 計画建物の概要

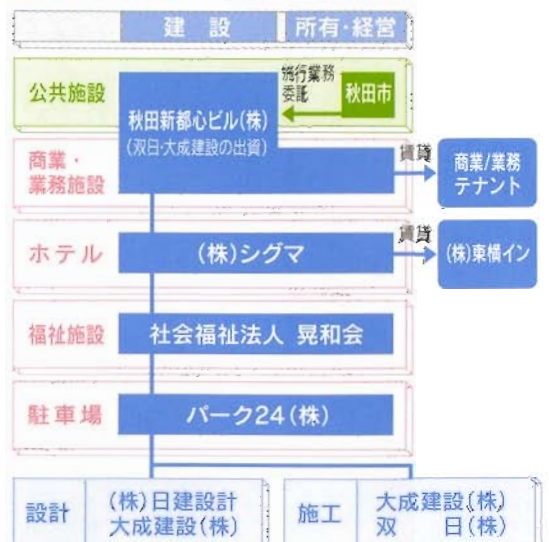
- 土地所有者：秋田市
- 所 在：秋田市中通七丁目1番3号
- 事業敷地面積：約10,620㎡
- 延床面積：約35,600㎡
- 都市計画：商業地域、準防火地域、  
容積率400%、建ぺい率90%
- 階 数：地上14階、塔屋1階
- 高 さ：約62M
- 駐 車 場：320台

## 施設概要

施設区分	延床面積	
公共施設 (秋田市民交流プラザ) きらめき広場・市民活動センター 多目的ホール・子ども未来センター 音楽交流室・自然科学学習館 市民サービスセンター・事務室	約7,880㎡	
民間施設	商業施設	約7,800㎡
	業務施設	約5,160㎡
	ホテル	約5,320㎡
	福祉施設	約1,520㎡
	駐車場	約7,920㎡
民間施設設計	約27,720㎡	
<b>施設合計</b>	<b>約35,600㎡</b>	

(共用部分の面積を含む)

## 事業スキーム



# 事業経緯

秋田拠点センターアルヴェは市街地空洞化対策の核として市民交流の拠点となるよう整備されました。

施設全体のご案内



## ■背景と経緯

市街地の拡大やマイカー中心のライフスタイルの浸透、郊外への大型店の出店等により、これまで政治・経済・文化・交流の拠点となっていた中心市街地の求心力が急激に落ち込み、全国的な傾向でもある「空洞化」が秋田市においても進んできたため、平成10年度に秋田市中心市街地活性化基本計画を策定し、その中において市民交流の核として、「拠点センター」の整備が位置付けられました。

整備にあたり、国鉄清算事業団から購入した鉄道跡地（約1万1千m<sup>2</sup>）を有効活用し、秋田駅東口の開発の起爆剤として、駅周辺の人の流れを高め、賑わいの創出をはかるため、人工地盤によって秋田駅東西連絡自由通路と連結する官民複合施設を構想としました。

## ■整備スケジュール

年度	事業
～平成10年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市拠点総合整備事業整備計画策定</li> <li>●秋田駅東拠点地区土地区画整理事業事業認可</li> <li>●基本構想策定</li> </ul>
平成11年度	9月／事業企画提案協議要項発表 11月／事業企画提案書提出 3月／入選者決定
平成12年度	10月／基本計画策定覚書締結
平成13年度	12月／基本計画決定 2月／実施設計策定覚書締結
平成14年度	8月／基本協定締結
平成15年度	↓ 工事
平成16年度	7月／施設オープン

## ■事業費概算

施設区分等	所有者	概算事業費 (単位:百万円)	備考
公共施設	本体整備	3,404.0	
	情報機器等整備	560.2	情報機器・什器・備品等
	人工地盤整備	300.0	
	その他	175.1	基本計画、実施設計等
小計		4,439.3	
民間施設	秋田新都心ビル(株) 他3事業者	5,300.0	
合計		9,739.3	

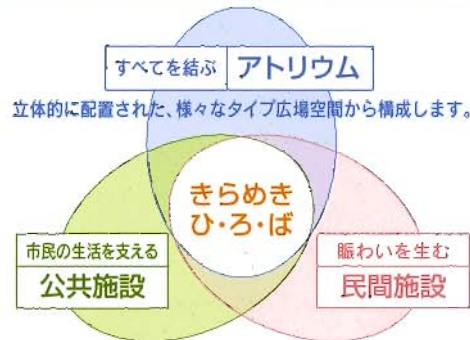
※公共棟の整備に当たり、国の「まちづくり総合支援事業」の補助を受けているほか、「旧地域総合整備事業債」の「ふるさとづくり事業」を活用しています。

# 開発コンセプト

4核1軸構想の東の起点として、幅広い世代の人々の活動が共生する秋田の新たな交流空間を創造します。

施設全体のご案内

## 明日の秋田の活力を産む 「ひろば（交流核）」の創造



市民活動施設、情報テーマ施設、行政サービス施設を整備し、豊かで利便性の高い市民生活を支えます。

賑わいづくりをメインテーマに、ショップ、レストラン、ミュージーズ、オフィス、ホテル、福祉、駐車場とバランスの良い施設構成を目指します。

## 名称の由来



夜空の星の代表格である彦星 (Altair: アルタイル) と織姫星 (Vega: ヴェガ) からなる造語であり、秋田の新星としてイメージしました。

また、交流拠点として大勢の人で賑わっていて欲しいこと及び「そこに行けば何かがあるさ(あるべ)」と期待のできる場所であって欲しいという願いを込め、イタリア語のアルヴェアーレ (alveare: 大勢の人が集まる場所) と秋田弁の「あるべ」も掛けています。

ロゴマークは星の形を人々の集まる中心としてイメージし、新しく光輝くようにデザイン。現代的な印象を狙い書体をあえて不揃いな大きさに組みかえ、躍動感と楽しさを表現しています。

## ■導入施設の基本方針

### 公共施設(秋田市民交流プラザ)

- おもしろ情報を通じて交流を行う場
- 自然科学や時代の要請に応える情報、体験、学習を通じた交流機能
- 市民の暮らしをサポートする場
- 市民生活を支える身近な行政機能
  - 市民参加型活動を支える機能
- 〈全天候型アトリウム空間〉  
秋田の交流拠点のシンボルとなる場
- イベントを通じて秋田の新しい歴史や文化を育んでいく交流機能

### 機能連携



恒常的な賑わい  
(相乗効果創出)

### 民間施設

- 商業施設
- シネマコンプレックス●一般小売店舗
  - レストラン、カフェ等
- 業務施設
- オフィス●クリニック
- 宿泊施設
- 宿泊特化型ホテル
- 福祉施設
- 老人デイサービスセンター
  - 障害者デイサービスセンター
- 駐車場

